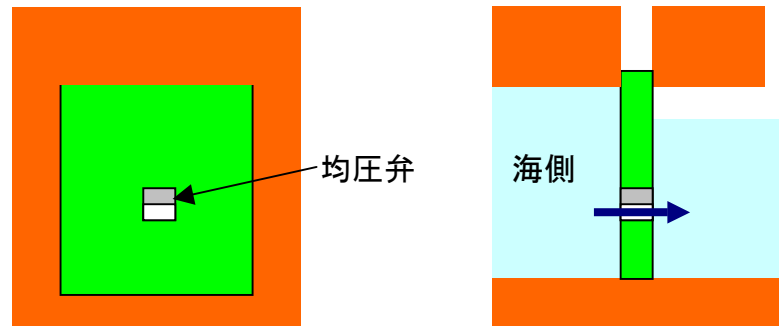
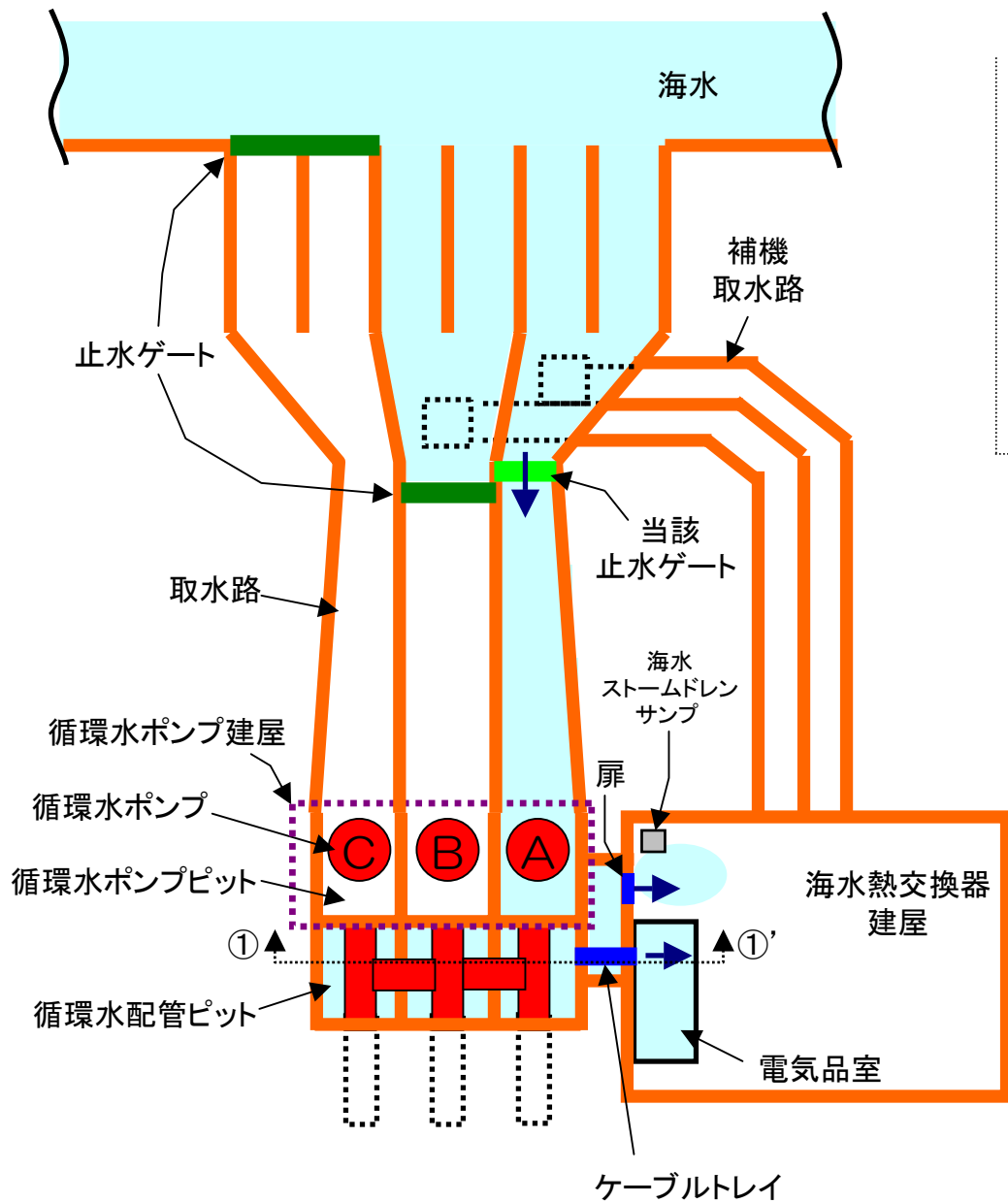
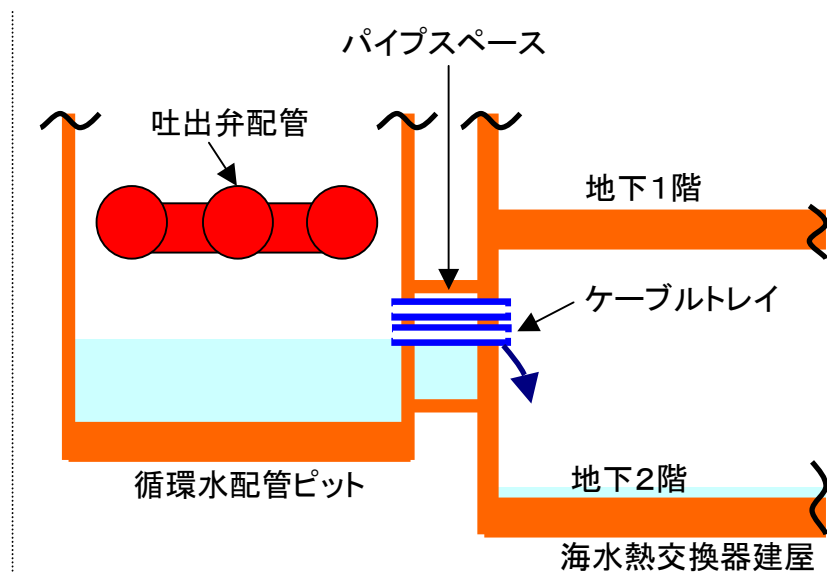


**区分：**

場所	5号機	
件名	海水熱交換器建屋(非管理区域)における海水の流入について	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の5号機において、平成21年6月30日午後10時32分頃、「サンプル制御盤異常」警報が発生したことから、当社当直員が現場を確認したところ、海水熱交換器建屋*1(非管理区域)地下2階南西にある海水ストームドレン*2サンプル周辺に水たまりを確認しました。 その後、水の流入経路を確認したところ、海水熱交換器建屋と循環水配管ピットの間にあるパイプスペースから水が流れてきていることが分かりました。また、隣接する循環水建屋の状況を確認したところ、循環水ポンプピットおよび循環水配管ピットにも水が溜まっていることを確認しました。</p> <p>(原因調査) 取水路の循環水ポンプ(A)の止水ゲートを確認したところ、止水ゲートの前後を均圧にする弁が全閉状態でないことが分かりました。当該弁が全閉状態でなかったため、取水路の海水が循環水ポンプ(A)に回り込み、循環水配管ピットを経由して海水熱交換器建屋に流入したものと推定しております。 なお、海水熱交換器建屋内に溜まっていた海水の量は、最大で約100m<sup>3</sup>と推定しております。</p> <p>(安全性、外部への影響) 溜まっていた海水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 1 海水熱交換器建屋 原子炉建屋、タービン建屋内で使用する機器の冷却水を、海水で熱交換し冷やすための機器を設置している建屋。</p> <p>* 2 海水ストームドレン 海水等の非放射性の廃液を移送する系統</p>	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<p>&lt;安全上の重要度&gt; 安全上重要な機器等 / <u>その他設備</u></p>	<p>&lt;損傷の程度&gt; 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中</p>
対応状況	<p>7月1日午前5時56分頃、当該弁を閉止するとともに、仮設ポンプ等を用いて海水熱交換器建屋内および循環水配管ピットに溜まった海水の排水を完了しました。今後、取水路を閉止し排水を完了し次第、詳細な原因調査を実施します。</p>	



当該止水ゲート



①-①' 矢視

5号機 海水熱交換器建屋(非管理区域)における海水流入について